

留学を終えて

加納高等学校 ケアンズ新菜（カナダ）

留学中に学んだことは複数ある。まずは文化の違いである。カナダは多国籍国家であり、さまざまな文化、宗教の人が共に生きている。宗教の違いにおける考え方の違いがあり尊重しなければならない。学校には自分の文化を大切にする日が設けられており、それぞれが自分の国の伝統の衣装を着てくるイベントがあった。残念ながら着物は持ち合わせていなかったの、私は着ることはできなかったが、もし事前に知っていれば是非日本の文化を紹介したいと思った。また、日本の文化にはないプロムにもドレスを着て参加することができて、とても良い思い出となった。

二つ目は学校の制度の違いである。私が通った sirwilliammulock s.s. では私は二期生で、前期で4教科を選び、それらを半年通して学んだ。学校は1日に4教科あり、授業の時間は75分と日本の学校より長い。後期でもう4教科を学ぶ。またカリキュラムも大きく違う。クラスの人数はとても少なく、生徒の進行状況を教員が常に把握することができる。日本ではクラスの一体感を大切にしているが、カナダでは授業の様子も大きく違い、ひとつのクラスとしてではなく、あくまで生徒ひとりひとりが個々として扱われる。自己責任の度合いが強いと感じた。ある時は、あまりにも生徒のおしゃべりがひどいので、先生がクラスで騒いでいるすべての生徒を教室から追い出すこともあった。また、私は後期で英語の授業をとり、日本の国語の授業との違いを味わうこととなった。日本での国語の時間は読み取りに重点を置いているが、カナダの国語の時間は、エッセイやプレゼンテーションなど自分の意見をまとめ、それを発表する形の授業形式であった。

3つ目は英語力の向上だ。私は留学で主にスピーキング力を中心にスキルを向上させた。始めのころは自分の英語力のなさを知るのが恥ずかしくてなかなか喋ることができなかったが、友達ができるにつれて話せるようになっていった。自分から話さないと改善できるものもできないので主体的に行動するのが大切だと実感した。ライティングは英語の授業や各教科のプレゼン作りで鍛えられたと思う。しかし、まだできていないことがたくさんある。例えば、現在 TOEFL の勉強をしているのだが、私の弱点は読む速度と単語力である。TOEFL 100点取得を目指して、4技能をバランス向上させていきたい。以上のように、今回カナダ留学を通して多くのことを学ぶことができた。この学びを将来に生かせるように今後も努力を続けていきたいと思う。

